

【報告事項】 令和6年度の評価・検証と令和7年度 of 取組について



私たちのピース・リスト2023
(県政広報テレビ番組「うまんちゅひろば」)

県内の中学校における働き方改革
「私たちのピース・リスト2023」の取り組みを
紹介 (YouTube動画 本編約3分30秒)



<https://www.pref.okinawa.jp/kyoiku/edu/1008490/1008491/1008508/1024388/1027590.html>



学校における働き方改革の取組目標「私たちのピース・リスト2023」 (3月8日・3月9日放送)

令和7年6月6日 (金)
県教育庁働き方改革推進課働き方改革班

はじめに

県教育長講話資料より抜粋

令和7年度 7つの重点取組事項

- 1 働き方改革とメンタルヘルス対策の推進
- 2 教育DXの推進
- 3 キャリア教育の推進
- 4 学力の向上
- 5 不登校児童生徒の支援
- 6 国際理解と外国語教育の推進
- 7 特別支援教育に関する専門性の向上

令和7年度 7つの重点取組事項

令和7年4月1日

～心身の健全な育成や人権を尊重する心、平和を希求する心の育成など、時代を超えて大切にしていかなければならない「不易」の部分教育の基盤に据えながら、新しい時代に必要な知識や技能を身に付けさせるための教育（流行）を推進する。～

1 働き方改革とメンタルヘルス対策の推進

- (1) 教職員が、働きやすさと働きがいを感じながら本来の職務に専念し、「子供たちへのより良い教育」を行っていくことができるよう「働き方改革推進計画(みんなの学校！ピースフル・プラン)」及び「取組目標(私たちのピース・リスト2023)」を推進する。
- (2) 教職員メンタルヘルスの日やガイドライン(指針)等の活用により教職員のメンタルヘルスに対する理解啓発に努めるとともに、5つのケアと3つの予防の充実を図り、教職員の心身の健康の確保に努める。

2 教育DXの推進

- (1) ICTとクラウドを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を推進し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる。
- (2) 小中学校の次世代型校務支援システムや高校入試Web出願システムなど校務DXの整備・導入により、校務の効率化を図り、学校の働き方改革を推進する。

はじめに

全体版

沖縄県公立学校における働き方改革推進計画

みんなの学校!ピースフル・プラン

～ 子供たちの未来を創る持続可能な学校を目指して ～

集中取組期間：令和6～8年度



令和6（2024）年3月
沖縄県教育委員会

https://www.pref.okinawa.jp/_res/projects/default_project/_page/_001/027/590/2024peacefulplanwhole.pdf

取組期間	初年度評価・検証	中間年度評価・検証	最終年度評価・検証
	スケジュール 令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)
本プラン	集中取組期間（3年）		

事務局説明

- 「みんなの学校！ピースフル・プラン」の確認
- 令和6年度の評価・検証
- 令和7年度の取組

1 『みんなの学校！ピースフル・プラン』の確認

「みんなの学校!ピースフル・プラン」リーフレット版

これから3年間!
新しいプランで進めよう!!



みんなの学校! みんなで進める!
学校における働き方改革

魅力ある学校

- 子供にとって [学力保障と成長保障、仲間、目標、成長の実感]
- 教員にとって [やり甲斐、働き甲斐のある職場]
- 保護者・地域にとって [子供の成長を共に共有できる場]

「学校における働き方改革」の目指すべき方向性

教職員のこれまでの働き方を見直し、長時間勤務の改善を図ることで教職員の健康を守ることがもとより、日々の生活の質や教職人生を豊かにするなど、教職員のウェルビーイングを確保するとともに、自らの人間性や創造性を高め、子供たちに対してより良い教育を行うことができるようにすることです。

「協調と調和」に基づく
ウェルビーイングの向上

豊かな人生を切り拓き、
持続可能な社会の創り手を育成

1 『みんなの学校！ピースフル・プラン』の確認

「子供たちに対してより良い教育」を行うためには・・・

★ 教職員が忙しすぎることは、子供たちのためにならない

教職員がより良い教育を行うための「時間と機会の創出」が必要

- ✓ 職場での良好な人間関係

✓ 児童生徒との信頼関係

✓ 安全・快適な職場環境の形成
- ✓ ゆとりある時間

✓ 研修や教材研究等の充実

✓ 長時間勤務の改善
- ・・・ 等々

学校における働き方改革の推進が必要不可欠

1 『みんなの学校！ピースフル・プラン』の確認

方針等 目的

教職員一人一人が、良好な人間関係を築き、心身ともに健康で本来の職務に専念し、児童生徒と共に学び、成長しながら、専門性を十分に発揮して、「子供たちへのより良い教育」を行っていくことができる教育環境を整える。

児童生徒と教職員のウェルビーイングの向上

目的の5つのポイント

- ①良好な人間関係の構築
- ②心身の健康
- ③本来の職務への専念
- ④児童生徒と共にした学びと成長
- ⑤専門性の発揮

目標 目的実現のための「3軸・6視点」の実感の向上

教職員が「働きやすさ」「働きがい」「心身の健康」を十分に実感できる環境整備

3軸 6視点	働きやすさ	働きがい	心身の健康
	同僚・管理職との良好な人間関係の構築	児童生徒・保護者との信頼関係の構築	心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成
	個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保	資質能力の向上や専門性の発揮	長時間勤務の改善

働き方改革とメンタルヘルス対策の一体的な取組



1 『みんなの学校！ピースフル・プラン』の確認

II 目標達成に向けた取組

教職員が「働きやすさ」「働きがい」「心身の健康」を十分に実感できるためには、「時間と機会を創出する」ことが必要である。

“時間と機会を創出する”ための柱

- ✓ 人材の確保
- ✓ 教育DXの推進
- ✓ 業務の役割分担・適正化

EFFORTS

具体的取組
『私たちのピース・リスト2023』に取り組むこと

児童生徒の成長や発達を支援する教職員が“働きやすさ”“働きがい”“心身の健康”を十分に実感できる学校づくりに向けて、関係者一人一人が各取組事項を自分事として受け止め、その役割と責任の下、各々の取組を着実に進める必要があります。

『私たちのピース・リスト2023』

<https://www.pref.okinawa.jp/kyoiku/edu/1008490/1008491/1008508/1024388/1027590.html>



～「学校における働き方改革」の取組目標～
『私たちのピース・リスト 2023』

ここに示した一ツの取組目標は、私たちの描く「学校における働き方改革」の「ワン・ピース」(一部分・一欠片)ではありません。
児童生徒の成長や発達を支援する教職員が「働きやすさ」「働きがい」「心身の健康」を十分に実感できる学校(職場)づくりに向けて、関係者一人一人がこれらを自分事として受け止め、その役割と責任の下、各々の取組を着実に進めることで「学校における働き方改革」は進んでいきます。
各市町村や各学校でもそれぞれの「ワン・ピース」を集めて、関係者で共有し、それぞれが目指す「学校における働き方改革」を描いていきましょう！

令和6(2024)年3月
沖縄県教育委員会

- 『私たちのピース・リスト2023』は、令和5年度始めに県内公立学校の全教職員を対象として実施したアンケート結果等から洗い出した課題に対して、一つ一つ取組事項を、短期・中期・長期の目標として設定したものです。
- 短期は令和6年度まで、中期は令和8年度まで、長期は令和9年度以降としています。

1 『みんなの学校！ピースフル・プラン』の確認

評価 「3軸・6視点」に基づいて、次の成果指標を設定し、毎年度、評価する。

- 成果指標1 学校評価(教職員対象)の評価項目に、下記の「3軸・6視点」に関する5項目を位置づけ、肯定的回答の割合を成果指標とする。
- 成果指標2 「3軸・6視点」に関する管理職アンケート調査を実施し、肯定的回答の割合を成果指標とする。
- 成果指標3 客観的計測による在校等時間を集計し、教職員の長時間勤務者の人数と割合を成果指標とする。

「3軸・6視点」に関する5項目(学校評価に設定)

- ✓ 同僚・管理職との良好な人間関係の構築ができています。
- ✓ 個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保ができています。
- ✓ 一人一人の児童生徒との信頼関係を深めることができています。
- ✓ より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実している。
- ✓ 心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができています。

4段階評価

- A : 当てはまる
- B : ある程度当てはまる
- C : あまり当てはまらない
- D : 当てはまらない

A・B
II
肯定的回答

検証 成果指標の目標値

ついに決まりました!!

全教職員の「3軸・6視点」の実感向上を目指して、令和8年度(2026年度)末までに

成果指標1、成果指標2の目標値 ●肯定的回答の割合を80%以上とする。

成果指標3の目標値 ●時間外在校等時間が月45時間、月80時間、年360時間を超える教職員の割合。



小学校		中学校		高等学校		特別支援学校	
月80時間超 (年度計月平均)	0%	月80時間超 (年度計月平均)	0%	月80時間超 (年度計月平均)	0%	月80時間超 (年度計月平均)	0%
月45時間超 (年度計月平均)	10.15%	月45時間超 (年度計月平均)	14.7%	月45時間超 (年度計月平均)	11.1%	月45時間超 (年度計月平均)	1.15%
年360時間超	10.8%	年360時間超	13.3%	年360時間超	21.7%	年360時間超	4.55%

2 令和6年度の評価・検証

○ 成果指標1：学校評価（教職員対象）

- 回答数（回答率） … 13,259名（職員全体の80.6%）
- ・市町村立小学校：5,024名（職員全体の73.5%）

・市町村立中学校：3,692名（〃 94.4%）

・県立高等学校：2,995名（職員全体の76.9%）

・県立特別支援学校：1,548名（〃 85.8%）

□ 集計結果（肯定的回答の割合）

項目	全体	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
1 同僚・管理職との良好な人間関係の構築ができています。	94.0%	95.1%	94.3%	92.5%	92.5%
2 個人の裁量（ゆとり）ある時間の確保ができています。	62.7%	66.5%	59.0%	57.9%	68.0%
3 一人一人の児童生徒との信頼関係を深めることができています。	92.5%	93.4%	91.9%	89.5%	97.4%
4 より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実している。	80.7%	83.3%	77.5%	77.3%	86.8%
5 心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができています。	82.6%	85.1%	79.2%	81.7%	84.2%

2 令和6年度の評価・検証

○ 成果指標2：管理職アンケート（管理職対象）

- 回答数（回答率） … 457校（学校全体の97.9%）
- ・市町村立小学校：245校（学校全体の96.8%）

・市町村立中学校：131校（〃 98.5%）

・県立高等学校：59校（学校全体の100.0%）

・県立特別支援学校：22校（〃 100.0%）

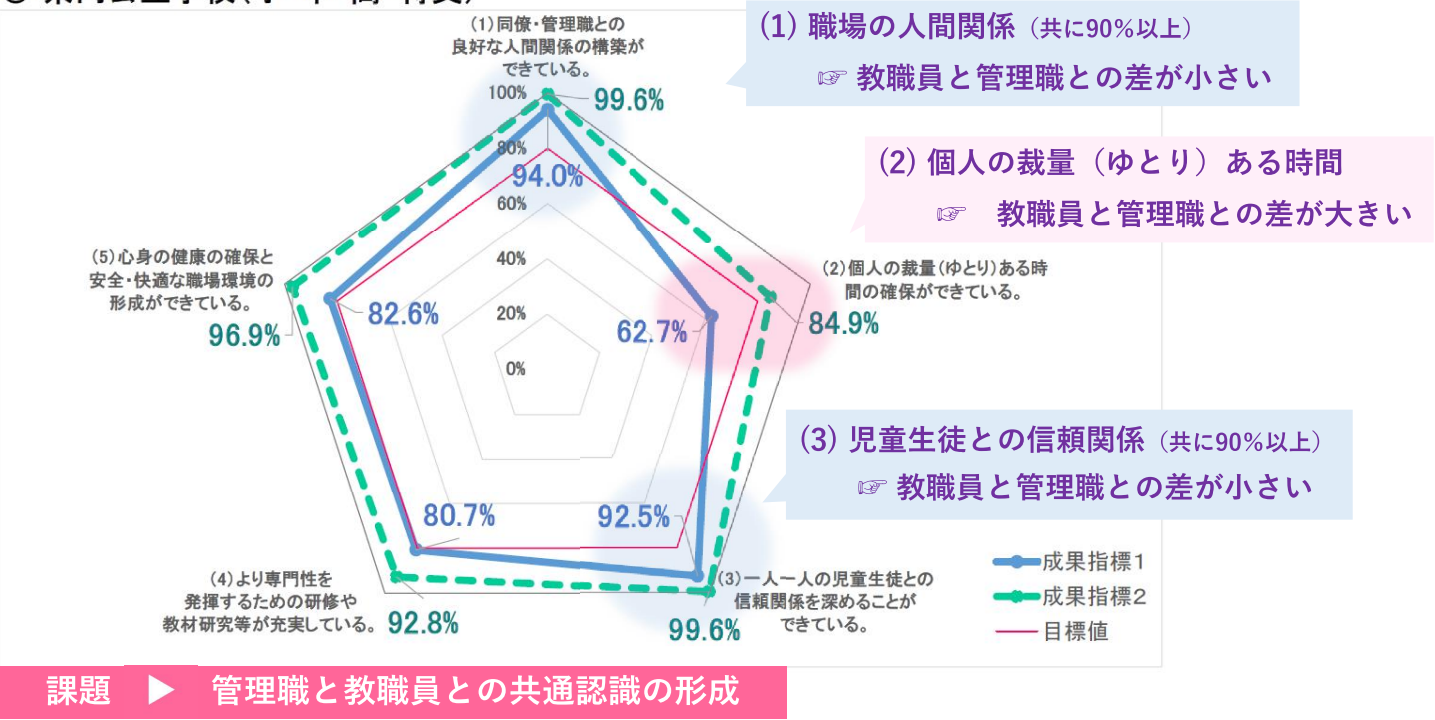
□ 集計結果（肯定的回答の割合）

項目	全体	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
1 貴校では、同僚・管理職との良好な人間関係の構築ができています。	99.6%	99.2%	100%	100%	100%
2 貴校では、個人の裁量（ゆとり）ある時間の確保ができています。	84.7%	87.8%	77.1%	86.4%	90.9%
3 貴校では、一人一人の児童生徒との信頼関係を深めることができています。	99.6%	99.6%	99.2%	100%	100%
4 貴校では、より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実している。	92.6%	92.7%	91.6%	94.9%	90.9%
5 貴校では、心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができています。	96.9%	97.6%	94.7%	100%	95.5%

2 令和6年度の評価・検証

◆ レーダーチャート 教職員の評価結果（成果指標1） 管理職の評価結果（成果指標2）

◎ 県内公立学校（小・中・高・特支）



2 令和6年度の評価・検証

○ 成果指標3 : 令和5年度 長時間勤務者の状況 ※ 令和6年度は集計中

令和5年度	市町村立 小学校	市町村立 中学校	県立 高等学校	県立 特別支援学校
月45時間以下	79.7%	70.6%	77.8%	97.7%
月45時間超	20.3%	29.4%	22.2%	2.3%
月80時間超 ☞ 主な理由 上位3つ	1.1%	3.2%	3.8%	0.0%
月平均対象 職員数	6784.6名	3977.8名	3979.8名	1879.5名
課題 ▶ 長時間勤務の更なる縮減				